

中学校の保護者の皆様へ

ジャンプアップ

家庭学習のすすめ【中学校】

平成27年9月 野田市教育委員会

全国学力・学習状況調査によりますと、子どもの学力形成には、学習習慣はもとより生活習慣も大きく関わっているという結果がでています。今年度野田市の中学生の家庭学習の時間は昨年度よりも増えています。反面、スマートフォンやゲームをやる時間は全国平均と比べてかなり多くなっています。今後さらに子どもの力を伸ばしていくためには、家庭学習のあり方と生活習慣についてお子さまと保護者が一緒に考え、改善していくことも大切です。ご協力お願いいたします。

家庭学習は、宿題・復習・予習の3つが基本

1 宿題

- まずやるべき家庭学習は宿題です。子どもが宿題にしっかりと取り組んでいるのかを把握し、時には声をかけることが必要です。

2 復習

- 今日やった授業のノートやプリント、教科書を見直します。

【国語・英語の取り組み例】

- ・今日の授業で出てきた漢字・単語・英文を練習する。
- ・教科書を暗唱できるくらいになるまで音読する。
(何度も音読することで、文章の内容理解はもとより表現力を養うことができます。)
- ・学校で使用しているワーク等の問題集に取り組む。
- ・今日の授業で学習した内容をまずは自分で思い出しながら家庭学習用ノートにまとめる。そのあと授業用ノートを見て確認し、足りない部分を補足する。
(自分で理解度を確認することができるだけでなく、学習内容が定着するのに役立ちます。)

【数学の取り組み例】

- ・今日の授業で行った問題に再度取り組む。
- ・学校で使用しているプリント、ワーク等の問題集に取り組む。

3 予習

- 次に習う教科書の範囲を読む。特に数学は、「例題」によく目を通しておく。
- 国語や英語は新しい漢字や単語を調べておく。
- 疑問点や不明点を明らかにし、その部分の解決を意識して授業を受けられるようにする。

4 その他

- テストに向けて、範囲内の練習問題を解き、できなかったところをノートにまとめる。
- テストが返却されたら、間違えた原因をよく考えながら解き直して、同じ間違いをしないようにする。
- 新聞・読書をとおして、社会情勢に関心を持ち、自分の考えを深める。

家庭学習を習慣化するための工夫

1 生活のリズムを整える

- 規則正しい生活を送らせてください。毎日きちんと家庭学習する子どもは、「早寝・早起き・朝ご飯」が習慣化されています。また、勉強と部活を『両立』させるために、「毎日勉強する時間を決める、テレビやゲーム等は〇時間までとする、夜は早く寝て、朝早く起きて集中して勉強する」など、規則正しい生活を送っています。また、自分で時間を管理できるルールを守れることで、学習に必要な「忍耐力・根気・集中力」を養うことができます。ぜひ、子どもと生活リズムについてじっくり話し合う時間をもってください。
- はじめは、内容よりも継続することが大切です。最低3ヶ月間、継続することができれば家庭学習は習慣化します。ぜひ、子どもが継続することができるように我慢強く支えてあげてください。継続できるようになったら、次は「内容」で勝負です。

2 学ぶ雰囲気をつくる

- 学習する時間帯を決めさせてください。毎日、一定時間、決まった場所で家庭学習を続けることにより、自ら進んで学習する習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前の習慣になり、学ぶ力が大きく伸びていきます。
- 学習する場所の整理整頓をさせてください。学習場所には漫画やスマートフォンなど気が散るようなものは置かないようにしてください。
- 今日やるべき課題を確認させてください。

3 子どもとの対話を多くする

- 学校での出来事や学習の様子を聞いたり、テストの結果を把握し、子どもが頑張っていることや困っていることを理解してください。
- 新聞記事やニュースなどを話題にして、社会へ目を向けさせてください。